

大阪労連・東日本大震災対策本部ニュース

NO.9 2011年 3月29日

発行：〒530-0034 大阪市北区錦町2-2

大阪労連・東日本大震災対策本部

TEL 06-6353-6421 FAX 06-6353-6420

事故の拡大防止には「隠さない、嘘をつかない、過小評価しない」

～福島第1原発の事故を考える緊急学習会～

東日本大震災によって福島県に集中立地する原子力発電所を破壊され、炉心溶解、水素爆発など重大な事故が発生し、国民の不安が高まる中、3月25日に大阪労連は緊急に「福島第1原発の事故を考える学習会」を開催しました。農民連や母親連絡会などからも参加がありました。

主催者を代表して宮武事務局長は、これからの日本のエネルギー問題・環境政策を国民的に議論していくことが重要になっている。安全・安心の日本をめざして学習を強め、運動をすすめていこうと呼びかけました。

講演では、元京都大学原子炉実験所の岩本智之さん(日本科学者会議)から、今回の事故が想定外でなく、数年前に国会で日本共産党の吉井英勝衆議院議員が、全国の原発について津波の危険を警告していたことがインターネットなどで話題になっている。しかし、当時の自公政権は「そんなことは起きない」と



対策をしてこなかったことが原因と指摘しました。また、今回復旧のために作業していた労働者が被爆をしたが、長靴すら用意しなかった東電の人命軽視は許せないことで、チェルノブイリでも最初の被害は現場の労働者だったと話されました。そして、今最も大切なことは、政府や東京電力などは、隠さない、嘘をつかない、過小評価せずに、事故の拡大防止に努めるべきと訴えました。

参加者からは「汚染された土壌除去をどう行うべきか」「廃炉になった後の対応は」など質問が出されました。

「募金してくれる方々のやさしさに触れ、

本当に涙が出ました」

泉佐野市職労は17日夕方、南海泉佐野駅、JR日根野駅の両駅で26人の組合員の参加で支援カンパ活動を行いました。泉佐野駅で53,631円、日根野駅で27,473円の計81,104円のカンパが寄せられ、外国人の方や両駅で1万円のカンパをしてくれる方、寒い中「がんばれ」とカイロを差し入れてくれる方など温かい支援の心に触れ、感動のカンパ活動となりました。この行動には、16年前の阪神淡路大震災で被災にあった20代の男性保育士も参加し、「募金してくれる方々のやさしさに触れ、本当に涙が出ました」と感想が寄せられています。



各単産・地域での取り組みをお送り下さい大阪労連・東日本大震災対策本部ニュースで紹介させていただきます